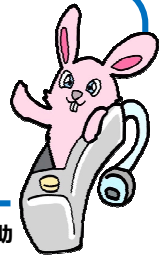


ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R5年 9月号



みみの助

巡回きこえとことばの学習会

夏季休業中に、本巢市、各務原市、二町(岐南町・笠松町)にて巡回きこえとことばの学習会を実施しました。各地域の小中学校特別支援学級及び通級指導教室担当の方々、本校在籍幼児児童生徒の保護者、聴覚障がい児に関わる関係者の方などが対象者で、3つの会場合わせて約70名の参加申込がありました。

講師には、愛知教育大学特別支援教育講座教授の岩田吉生氏をお招きし、聴覚障がい児のきこえの理解、就労、ことばの支援、自立などについて幅広くご講話いただきました。その話の中で、「ことばを獲得していくためには、日常生活において様々な体験をすることが大切である」とありました。体験とことばを繋げることで、よりことば言葉の意味を理解し、知識となるからです。当校でも、乳幼児教室や幼稚部から、五感を使った体験を通して言語を獲得又はことばを増やしています。そして蓄積された知識を生かしながら、小学部での教科学習が始まります。初めて聞く言葉でも「例えば、〇〇ってこと?」「□□みたい!」と置き換えて考えられると、内容がより理解でき、「できた!楽しい!」という達成感に繋がっていきます。また、就労や自立に求められる力について、岩田先生からは「礼儀」「素直さ」「ことばの力」「自分の障がいについて説明し、周りに支援を求める力」など、20項目ほど紹介されました。目上の方との話し方、指導や助言をいただいたときの受け答え方は、よりよい人間関係を築く上で欠かせない力だそうです。

7/25 もとすし 本巢市



7/26 かがみはらし 各務原市



8/21 にちょう 二町



参加された方からは、「語彙を増やしていくことの大切さを改めて感じた。」「学校教育だけでなく、社会との繋がりにについても知らせていただいたのでよかった。」「聴覚障がい児だからするべき支援という訳ではなく、すべての子に対しての支援に繋がると思った。」などの感想がありました。改めて、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、子どもの将来を見据えた指導や支援方法を考えていく必要性を感じたよい機会となりました。

10月 業者来校予定日

* ナショナル補聴器センター・・・ 10月 4日、18日(毎月第1・3水曜日)

* 理研産業・・・ 10月 11日 (毎月第2水曜日)

場所: 本館1階 補聴相談室

時間: 13時30分～相談が終わり次第終了

※イヤモールド作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。